

## 令和3年度事業計画

当財団では、「地域の人々が活気溢れる社会、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現」というミッション（使命）のもと、文化芸術に関する各種事業を積極的に推進することにより県民文化の育成と振興を図り、そして県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動支援、人と人の交流、地域の活性化を図ってきました。

また、近年、地域・社会が大きく変容し、文化芸術が地域及び社会における課題を解決する処方箋として社会的効用を発揮するという新たな重要性も増しているなかで、公立文化施設が果たすべき役割は、ますます重要になっています。とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活や催事等に多くの制限がかかる中、リアルな文化芸術のもつ大きな効用が改めて認識されたことから、万全な感染防止対策を行いながら地域に文化芸術を届けていくことが重要です。

当財団は、改めて公立文化施設の役割を明確にし、その機能である「文化権の保障・文化芸術の振興・地域コミュニティの拠点・経済的貢献」を再認識し、その機能を十分に発揮するよう各種事業を展開していきます。

### 管理運営業務の基本方針 《重点項目》

全ての利用者の安心・安全・公平な利用機会の確保を基本とし、そのための対応として重点項目を設定し、実践します。

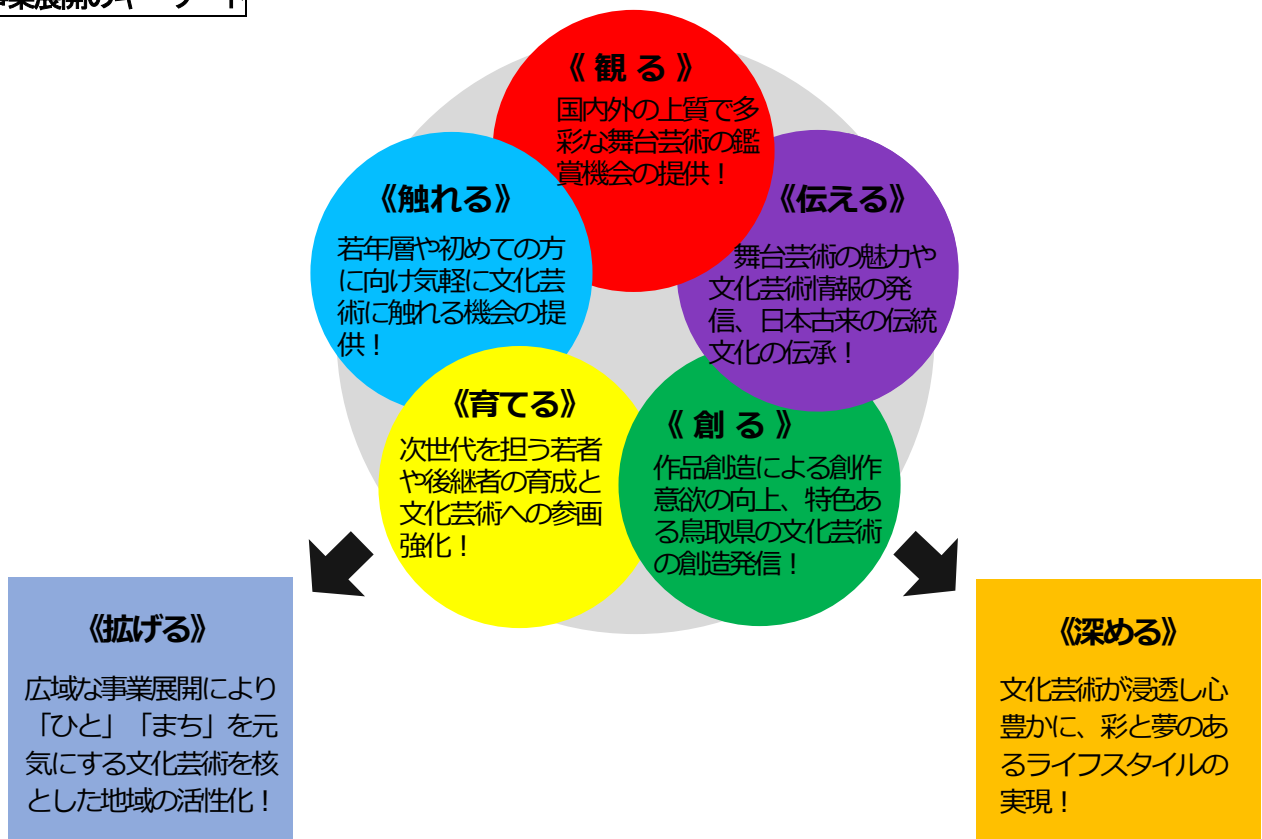
ア 利用者・来館者の安心・安全    イ 利用者（県民）目線    ウ 法令の遵守    エ 効率的な施設運営

### 文化芸術事業の基本方針 《重点項目》

県民が文化芸術に親しみ、参加していただくための対応として重点項目を設定し、その実現のための各種取組を実践します。

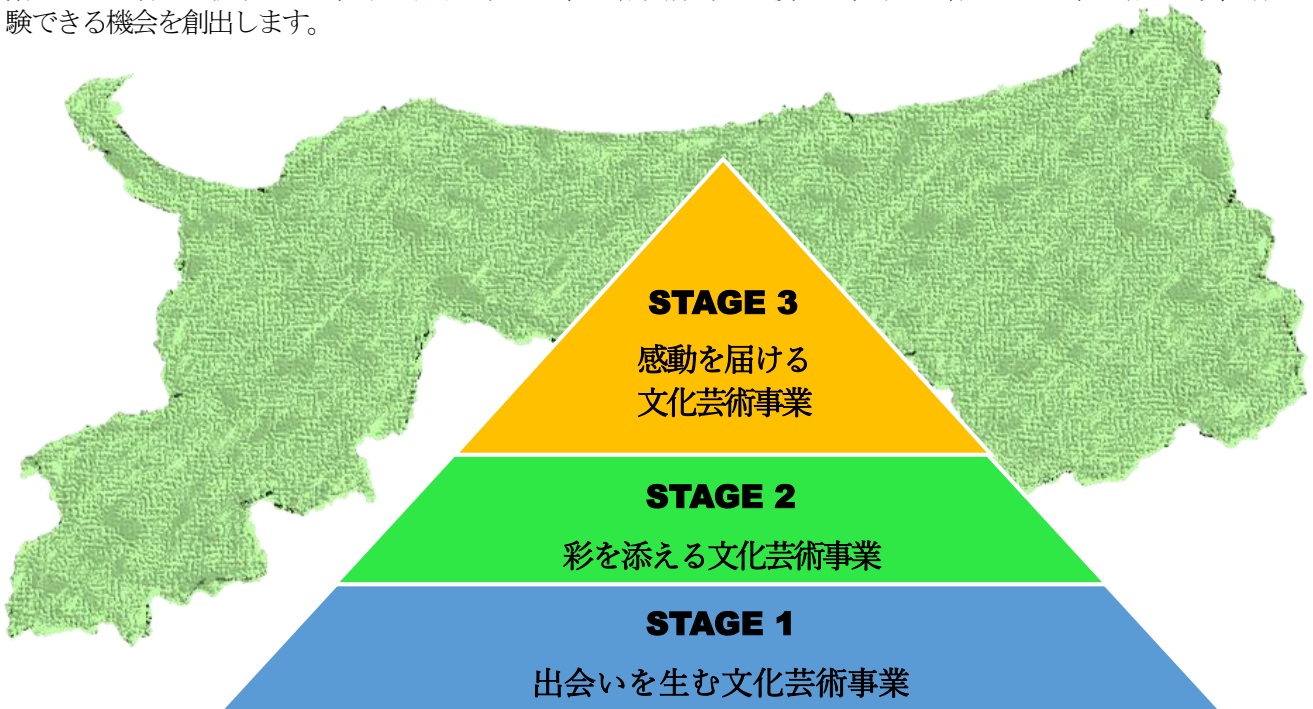
ア 国内外の質の高い舞台公演の鑑賞の提供（観る）    イ 文化芸術に触れる機会の提供（触れる）  
ウ 若者の育成及び参画（育てる）    エ 情報の発信と伝統文化の伝承（伝える）    オ 新しい文化芸術の創造（創る）

### 事業展開のキーワード



## 事業の体系化

事業実施にあたっては、重点項目を踏まえて事業を体系化（STAGE 1～3）し、目的と目標を明確化させ段階的かつ重層的な戦略のもと、県内各市町村や文化芸術団体等と連携して、県民の誰でもが文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出します。



### STAGE 1 出会いを生む文化芸術事業の展開

#### 目的

県内市町村や文化芸術団体等とこれまで以上の連携協力のもと、これまであまり縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる文化芸術を届けることを目的とした事業を展開します。

#### 目標

- ・初めての文化芸術体験機会の創出を狙い、誰でもが鑑賞し、体験できる機会を設けます。
- ・若年層や家族が気軽に参加できる仕掛けを作ります。

#### ア トライアート（継続事業・一部新規事業） 「触れる」「育てる」「拡げる」 【県民文化会館指定管理料】

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層を対象に、プロデュース公演や鑑賞事業と連携したワークショップ等を実施し、年間を通して継続的に文化芸術の魅力を身近に体験し深める機会を提供することで、新規参画者を含めた裾野の拡大と会館を拠点とした文化芸術のコミュニティの構築を目指します。

#### (ア) ⑧ レクチャー・シリーズ 年8回程度

潜在的鑑賞者及び新規参画者を対象とした、鑑賞公演等の主催事業に関連した講座を開講します。講師には、県在住の専門家、演奏家を起用し、文化芸術の魅力を身近に感じられる初級から中級程度の内容の講座を年8回程度実施し、文化芸術による会館を拠点とした交流機会を提供します。

#### (イ) 体験して深めるワークショップ〈音楽・舞踊・演劇〉年5回程度

鑑賞事業及びプロデュース公演で生まれた人材・ネットワーク  
・作品等を活用して、ワークショップ等を開催し、ジャンルの魅力を体験して深める機会を提供します。親子向けには子どもの年齢に合わせ、早期において創作力や想像力を高める企画内容とし、若年層を対象の中心に、若年層を対障がいの有無や年齢（未就学・高齢者）を問わず参加できる機会にも配慮します。



## イ ととりの芸術宅配便（継続事業・一部新規事業） 「観る」 「触れる」 「伝える」 「拡げる」

【県民文化会館指定管理料】

子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会を提供することで、将来の文化芸術の担い手としての鑑賞者、活動者、支援者の拡大、文化芸術の裾野の拡大を図ります。

### (ア) ととりの芸術宅配便 <学校編> 年25回程度

多感な時期の子どもたちが心豊かで活力ある生活を送るとともに、その無限の可能性を広げるための一助として、県内のアーティストによる生の文化芸術と出会い、触れ合い、さまざまに感じる機会を県内の小中学校・特別支援学校へ届けます。



### (イ) ⑧ ととりの芸術宅配便 <まちかど編> 年3回（市町村連携）

県内全域の地域団体と連携し、市町村のまちづくりセンター等の公共スペースを活用したミニコンサート等へアーティストや団体を派遣します。子どもや親子連れや高齢者、普段忙しくてホールに行けない方などに文化芸術を届けます。

## ウ 芸術鑑賞教室（継続事業） 「観る」 「触れる」 【県補助金】

高等学校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催します。文化施設及び学校体育館等において優れた舞台芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的とします。併せて青少年の文化芸術に対する関心を高めることで、将来的な文化芸術ファンの開拓に繋げ、本県のさらなる文化振興を図ります。



## エ みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート 「触れる」 【県民文化会館指定管理料】

舞台芸術への関心や意欲を向上することを目的として、会館が保有している3種のグランドピアノを活用してそれぞれの特色や魅力を感じる参加・体験型の事業を実施し、専門家による説明に加えミニコンサートを行い、生の舞台芸術に触れる機会を設けます。



【みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート】

## STAGE 2 彩を添える文化芸術事業の展開

### 目的

県内市町村や文化芸術団体等と綿密な連携のもと、心地よい文化芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける事業を展開します。

### 目標

- ・県民が多彩な文化芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整えます。
- ・文化芸術をより楽しみ深めるためのアウトリーチ事業を行います。

## ア ととり地域創造（新規事業） 「観る」 「育てる」 「伝える」 「拡げる」 「深める」

【県民文化会館指定管理料】

鳥取県の未来を担う若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村等と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者となる文化芸術関心層の拡大を目指します。



**(ア) ⑧とっとり地域創造ステージ 年2回程度**

質の高い舞台芸術を上演し、市町村において潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者となる文化芸術関心層の拡大を目指します。青少年や支援者となる地域住民が良質の舞台芸術に触れやすくなるため、無料公演を基本とします。



**(イ) ⑨アーティスト発信ステージ 年3回程度**

県内在住のアーティスト等に活躍の場を提供し、事業を通じてアーティストや活動者の創作に対する意欲を高めることで県内文化芸術の活性化を図ります。親子向けや子どもを対象とする公演は、対象年齢を設定し、文化芸術がより身近に感じられるように小規模公演とします。

併せて、国内外で活躍する若手音楽家（演奏家、声楽家、作曲家等）と協働した事業の発展を目指し、アーティスト・パートナー制度（登録）を設置します。



**イ 若手クラシックアーティスト育成プロジェクト（継続事業） 「触れる」 「育てる」**

**【県民文化会館指定管理料】**

これまで実施してきたオーディション事業を見直し、オーディション参加者の発掘と拡大、技術向上を目的に、NHK交響楽団監修のもと、楽器のクリニックを実施します。若年層を対象とし、技術や意欲をさらに育て伸ばす「スキルアップ」を目的に、NHK交響楽団の奏者や、県出身・在住のプロを講師に招き、各楽器のクリニックを実施し、プロの音楽家を目指す若手演奏者の発掘と育成を図るとともに事業を通して、鳥取県の未来を担う若手演奏者及び指導者等とのネットワークづくりを図ります。

また、令和4年度または令和5年度には、「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」の開催を目指します。

**(ア) 弦楽アンサンブルクリニック 年1～2回程度**

各地区のジュニアオーケストラ、県内高校の弦楽部等、若手活動者や若年層を対象とし、とっとりチェンバーオーケストラメンバーを講師に迎え、年1～2回程度クリニックを実施します。



**(イ) 個人クリニック 年1～2回程度**

若手活動者や若年層を対象に、将来的に開催するオーディションを見据えたジャンル別のクリニックとし、NHK交響楽団の奏者を講師に招き、早期の育成を目指したクリニックを年1～2回程度実施します。



**ウ 鳥取県青少年郷土芸能の祭典2021 「観る」 「触れる」 「伝える」**

**【県民文化会館指定管理料】**

地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流を主軸に置き、青少年による郷土芸能の公演を開催し、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を高め、県外・国外団体及びゲスト演奏者との交流による技術向上と意識啓発に繋がります。

また、「古典芸能体験事業」とし、日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図るため、古典を身近に触れることのできる機会の提供を目指したワークショップを開催します。



## STAGE 3 感動を届ける文化芸術事業の展開

### 目的

基幹ホールの優れた機能とこれまで培ってきた財団の専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加される方々に高質な文化芸術を満たすことにより大きな感動を届けます。

### 目標

- ・県民を魅了する良質な舞台作品の鑑賞機会を提供します。
- ・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品づくりを行います。

### ア 鑑賞型事業 「観る」「触れる」「深める」 【基本財産運用益】

県民が良質な舞台芸術に触れ、感動し、豊かな心を育むことを目的に鑑賞公演（財団主催）を実施する。国内外の質の高い舞台公演の提供やその出演者によるワークショップ、市町村との連携によりその地元施設での演奏会の実施、次世代を担う若者の育成と文化芸術への参画の強化、鳥取県出身・在籍のプロのアーティストを起用した事業、これまで文化芸術にあまり縁の薄かった方々へのアプローチなど、多彩かつ広域に事業展開を行うことで「ひと」と「まち」が元気になることを目的とする。

#### (ア) NHK交響楽団 鳥取公演

名実ともに日本を代表するオーケストラであるNHK交響楽団の演奏会を開催することにより、県民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、クラシック音楽の潜在的鑑賞者の開発とファンの拡大を図ります。近年着実に潜在的なクラシックファンや学生鑑賞者が増加傾向にあることから、ファンのさらなる拡大・定着を図るほか、梨花ホールの音楽ホールとしての魅力を積極的に発信することで、県民文化会館のさらなるファン・支援者の拡大を目指します。

加えて、育成創造事業と連携することで、若年層への鑑賞機会の提供のみならず、技術向上の面でも同団と連携・協力を図ることで次世代への育成へと繋げる事業とします。

日時：令和3年8月28日（土）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



#### (イ) ストラディヴァリウス・コンサート2021

世界の文化遺産といわれる最高クラスの弦楽器「ストラディヴァリウス」を日本音楽財団より貸与されている、国外を拠点とする若手有望演奏家によるコンサートを開催することで、名器の音色と質の高いクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、ファンの拡大、潜在的鑑賞者と新規鑑賞者の開拓を図ります。

日時：令和3年9月11日（土） 開演18：30

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



#### (ウ) 澤和樹・蓼沼恵美子 ～チェロの巨匠、アラン・ムニエ氏を迎えて～（仮題）

深い音楽性と美しい音色を兼ね備え円熟を極めるハーモニーで評価の高い、澤和樹（現東京藝術大学学長）と蓼沼恵美子のデュオに、フランスチェロ界の重鎮アラン・ムニエを迎えたトリオコンサートを開催することにより、質の高い室内楽の演奏機会を提供し、ファンの拡大、潜在的鑑賞者と新規鑑賞者の開拓を図ります。

また、若年層の入場料を安価に設定、効果的に情報提供し、より多くの児童生徒の鑑賞体験機会につなげ、生の文化芸術の素晴らしさを伝える機会とします。

日時：令和3年11月14日（日） 開演14：00（予定）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール





### (エ) モルゴーア・クアルテットコンサート

日本トップクラスのクラシック演奏家で編成された弦楽四重奏団による演奏会を開催することで、クラシック音楽や室内楽の新たな楽しみ方を提供します。演奏曲は、カルテットが掲げる「クラシック音楽」と「プログレッシブ・ロック」とし、クラシックファンに留まらず、新規鑑賞者の獲得を目指します。併せて、会場を湯梨浜町とし、さらに同町の文化芸術団体と共催することで、中部地域1市4町の文化芸術振興を担う倉吉未来中心としての使命を果たします。

日時：令和3年4月25日（日） 開演14：00

会場：ハワイアロハホール



### (オ) ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート2022

平成30年度に開催した米子公演が好評であり、地方では体感する機会の少ない新春に相応しい「ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート」を鳥取県中部で再演します。通常の時期とは趣が異なる新年に、管楽器と弦楽器の両方が織り成すアンサンブルにより、大編成のオーケストラとは異なるクラシック音楽の楽しみ方を提供します。

日時：令和4年1月9日（日）

会場：倉吉未来中心 大ホール



### (カ) やのとあがつま (矢野顕子&上妻宏光)

上妻宏光氏が矢野顕子氏とユニットを結成し、2014年9月にNYで喝采と称賛を受け、初共演を果たした公演がツアーで再現されます。ピアノ、三味線、ヴォーカルから生み出される変幻自在で2人の個性溢れる楽曲から津軽三味線の古典曲、そして、日本文化である「民謡」に焦点を当て、ジャンルを超えた音楽の魅力を伝えることで、鳥取県内の音楽文化の盛り上げと新たな鑑賞者の拡大を図ります。

日時：令和3年5月8日（土） 昼公演予定

会場：米子市公会堂 大ホール



### (キ) 新日本フィルハーモニー交響楽団 米子公演

久しくプロオーケストラによる公演が開催されていない鳥取県西部地区の現状を踏まえ、日本トップクラスのオーケストラである「新日本フィルハーモニー交響楽団」の演奏会を開催します。県民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、クラシック音楽の潜在的鑑賞者の開発とファンの拡大を図ります。

日時：令和3年7月16日（金） 夜公演予定

会場：米子市公会堂 大ホール



## イ プロデュース公演「観る」「触れる」「育てる」「創る」「伝える」【県民文化会館指定管理料】

鳥取県の特徴ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作します。作品の制作過程を通して、出演者・スタッフ等の協働推進者をはじめ、来場者等幅広く県民へ、作品内容やジャンルの魅力を多面的に伝える工夫によって、鳥取県の特徴ある地域文化と文化芸術の魅力を発信します。

さらに、制作した作品の再演等や構築されたネットワークの継続的活用、ノウハウの波及効果を追求します。

また、事業を通して県内活動者の創作に対する意欲を高めることで、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図ります。

## (ア) RIKA Ballet Concert (仮題) <舞踊>

県内では鑑賞機会の少ない生演奏でのバレエ公演を提供します。指揮者の井田勝大氏、県内出身・在住のプロおよび地域のバレエ団、とっとりチェンバーオーケストラのメンバーとともに公演を制作することにより、鳥取県から発信する地域文化の創造・発展及び、新しい文化芸術の創造を目指します。バレエの鑑賞者拡大を図るとともに、とっとりチェンバーオーケストラの新たな活動の場を広げ、舞踊と音楽の両側から県民に発信します。併せて、さらなる活動者の支援・活性化、指導者や若手の育成等を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。

日時：令和4年2月27日(日) 開演14:00(予定)

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



【プロデュース創作公演 舞踊公演(平成30年)】

## (イ) U-18シアタープロジェクト ACT2 <演劇>

令和4年度開催予定の、鳥取県内の18歳以下が創作した戯曲を同じく県内18歳以下が演じる、新作オリジナル作品の演劇公演の準備年とします。過去に取り組んだ演劇創造事業で育成した人材を講師として起用し、地域においてより一層の人材育成と後進の発掘・育成を図り、県内における新たな演劇の発展と発信を目指す演出指導者として、新国立劇場演劇研修所所長の宮田慶子氏を引き続き招聘します。

また、さらなる財団スタッフのプロデュース力向上、活動者の活性化、次世代育成等を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。



【U-18シアタープロジェクト(平成31年)】

## (ウ) <音楽>

令和4年度に開催予定の「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者及び国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」の10名程度で編成する中規模コンサートの準備年とします。

併せて、奏者が主体となって企画する公演を支援(会場費補助・広報)し、事業の継続的な発展と合奏団・奏者の理解者・支援者の拡大を図ります。



## ウ 特別共催事業 「観る」「触れる」「拡げる」「深める」【基本財産運用益】

### (ア) マスコミ共催

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにもより優れた舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要であるため、民間機関が実施する公共性の高い優れた鑑賞事業に対し、当財団が共催することで県民の鑑賞機会を増やすことを目的とします。



【牛田智大ピアノリサイタル(令和3年)】

### (イ) 一般共催

一般団体(芸術団体・文化芸術関連NPO団体など)が実施する優れた鑑賞公演について当財団が共催することで、財団のミッションの一部でもある「団体の自主的な活動の支援」として、県民に優れた文化芸術公演を多く提供し、鑑賞機会を増やすことを目的とします。



【神庭智子コントラバス・リサイタル(令和2年)】

公1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

当財団は、文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、この目的を達成するために、「文化芸術事業の基本方針」に掲げる重要項目・事業体系を踏まえて、その実現のための各種取り組みを実践し、文化芸術事業を推進する。

また、「管理運営業務の基本方針」に掲げる重要項目及び上記を踏まえつつ、文化振興を図る拠点施設である鳥取県立県民文化会館の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供する。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定を締結の上、これを遵守していく。

1 文化芸術の振興と創造・発信事業

県民が良質の舞台芸術に触れ、感動し、豊かな心を育むことを目的に、国内外の質の高い舞台公演の提供や、市町村との連携によるその地元施設での演奏会の実施、次代を担う若者の育成と文化芸術への参画の強化、鳥取県出身・在住のプロのアーティストを起用した事業など、これまで文化芸術にあまり縁の薄かった方々へのアプローチなど、多彩かつ広域に「ひと」と「まち」が元気になる事業を展開する。

また、鳥取県の特色ある地域文化を基に、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作することにより、鳥取県の特色ある地域文化と文化芸術の魅力を発信する。

(1) 鑑賞公演の提供

ア 財団主催事業 「観る」「触れる」「深める」 STAGE 3 【予算額 59,804 千円】

	事業名（公演名）	開催時期	開催場所	目標入場者数
1	NHK交響楽団 鳥取公演 ※共催：NHK鳥取放送局	8月28日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,600人
2	ストラディヴァリウス・コンサート2021 ※共催：(公財)日本音楽財団	9月11日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,134人
3	澤和樹・蓼沼恵美子 ～チェロの巨匠、アラン・ムニエ氏を迎えて～ (仮題)	11月14日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	930人
4	モルゴーア・クアルテットコンサート ※共催：湯梨浜でクラシックを聴く会、湯梨浜町	4月25日(日)	ハワイアロハホール 大ホール	480人
5	ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート2022	1月9日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,108人
6	やのとあがつま (矢野顕子&上妻宏光) Japan tour2021-Asteroid and Butterfly- ※共催：(一財)米子市文化財団、(株)山陰放送	5月8日(土)	米子市公会堂 大ホール	1,035人
7	新日本フィルハーモニー交響楽団 米子公演 ※共催：(一財)米子市文化財団	7月16日(金)	米子市公会堂 大ホール	1,014人
7事業7公演（東部3公演、中部2公演、西部2公演）				7,301人

イ 特別共催事業 「観る」「触れる」「拡げる」「深める」 STAGE 3 【予算額 2,957 千円】

(ア) マスコミ共催 年9公演程度

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにもより優れた舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要であるため、民間機関が実施する公共性の高い優れた鑑賞事業に対し、当財団が共催することで県民の鑑賞機会を増やすことを目的とします。

(イ) 一般共催 年3公演程度

一般団体（芸術団体・文化芸術関連NPO団体など）が実施する優れた鑑賞公演について当財団が共催することで、財団のミッションの一部でもある「団体の自主的な活動の支援」として、県民に優れた文化芸術公演を多く提供し、鑑賞機会を増やすことを目的とします。



(2) プロデュース公演（県民文化会館指定管理事業）「観る」「触れる」「育てる」「創る」「伝える」

STAGE 3

【予算額 16,817千円】

鳥取県の特徴ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作します。作品の制作過程を通して、出演者・スタッフ等の協働推進者をはじめ、来場者等幅広く県民へ、作品内容やジャンルの魅力を多面的に伝える工夫によって、鳥取県の特徴ある地域文化と文化芸術の魅力を発信します。

さらに、制作した作品の再演等や構築されたネットワークの継続的活用、ノウハウの波及効果を追求します。

また、事業を通して県内活動者の創作に対する意欲を高めることで、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図ります。

**ア R I K A Ballet Concert（仮題）＜舞踊＞**

県内では鑑賞機会の少ない生演奏でのバレエ公演を提供します。指揮者の井田勝大氏、県内出身・在住のプロおよび地域のバレエ団、とっとりチェンバーオーケストラのメンバーとともに公演を制作することにより、鳥取県から発信する地域文化の創造・発展及び、新しい文化芸術の創造を目指します。バレエの鑑賞者拡大を図るとともに、とっとりチェンバーオーケストラの新たな活動の場を広げ、舞踊と音楽の両側から県民に発信します。併せて、さらなる活動者の支援・活性化、指導者や若手の育成等を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。

日時：令和4年2月27日（日） 開演14：00（予定）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

**イ U-18シアタープロジェクト ACT2 ＜演劇＞**

令和4年度開催予定の、鳥取県内の18歳以下が創作した戯曲を同じく県内18歳以下が演じる、新作オリジナル作品の演劇公演の準備年とします。過去に取り組んだ演劇創造事業で育成した人材を講師として起用し、地域においてより一層の人材育成と後進の発掘・育成を図り、県内における新たな演劇の発展と発信を目指す演出指導者として、新国立劇場演劇研修所所長の宮田慶子氏を引き続き招聘します。

また、さらなる財団スタッフのプロデュース力向上、活動者の活性化、次世代育成等を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。

**ウ ＜音楽＞**

令和4年度に開催予定の「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者及び国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」の10名程度で編成する中規模コンサートの準備年とします。

併せて、奏者が主体となって企画する公演を支援（会場費補助・広報）し、事業の継続的な発展と合奏団・奏者の理解者・支援者の拡大を図ります。

(3) 芸術鑑賞教室（県補助事業：芸術鑑賞教室開催事業）「観る」「触れる」

STAGE 1

【予算額 10,000千円】

鳥取県からの補助金を受け、高等学校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催します。文化施設及び学校体育館等において優れた舞台芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的とします。併せて青少年の文化芸術に対する関心を高めることで、将来的な文化芸術愛好者の開拓に繋げ、本県のさらなる文化振興を図るため、芸術鑑賞教室の開催のための事務・事業の適正かつ円滑な運営を行います。

・鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校）＜年12回程度＞

・児童生徒を対象とした文化芸術事業（芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演）

＜年35回程度＞

(4) 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業の実施

【予算額 13,638千円】

鳥取県からの基金造成事業補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるため、文化芸術事業の経費等へ充当し事業を実施します。

## ア 鑑賞事業及び事業実施に係る共通経費（予算額 12,940 千円）

事業名（公演名）	開催時期	開催場所	目標入場者数
ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート2022	1月9日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,108人
新日本フィルハーモニー交響楽団 米子公演 ※共催：(一財)米子市文化財団	7月16日(金)	米子市公会堂 大ホール	1,014人
共通経費（鳥取・倉吉）	通年	—	—

## イ 友の会会員管理・チケット販売システム賃借料及び手数料（予算額 698 千円）

件名	備考
友の会会員管理・チケット販売システム運用 (リース期間：平成28年12月1日～令和3年11月30日)	個人情報保護強化及び利用者サービス向上

## 2 文化芸術活動支援及び人材育成事業

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層に対するプロデュース公演や鑑賞事業と連携したワークショップ等の継続的な実施による会館を拠点とした文化芸術のコミュニティの構築と、子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会の提供による将来の文化芸術の担い手としての裾野の拡大のほか、若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者の拡大を図ります。

また、地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流による技術向上と意識啓発、古典芸能の体験事業を通じ、古典を身近に触れることのできる機会を提供し、日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図ります。

### (1) 次世代育成事業（県民文化会館指定管理事業）

#### ア トライアート（継続事業・一部新規事業）「触れる」「育てる」「拡げる」

STAGE 1

【予算額 2,958千円】

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層を対象に、プロデュース公演や鑑賞事業と連携したワークショップ等を実施し、年間を通して継続的に文化芸術の魅力を生身近に体験し深める機会を提供することで、新規参画者を含めた裾野の拡大と会館を拠点とした文化芸術のコミュニティの構築を目指します。

#### (ア) レクチャー・シリーズ（新規事業）年8回程度

潜在的鑑賞者及び新規参画者を対象とした、鑑賞公演等の主催事業に関連した講座を開講します。講師には、県在住の専門家、演奏家を起用し、文化芸術の魅力を生身近に感じられる初級から中級程度の内容の講座を年8回程度実施し、文化芸術による会館を拠点とした交流機会を提供します。

#### (イ) 体験して深めるワークショップ〈音楽・舞踊・演劇〉年5回程度

鑑賞事業及びプロデュース公演で生まれた人材・ネットワーク・作品等を活用して、ワークショップ等を開催し、ジャンルの魅力を体験して深める機会を提供します。親子向けには子どもの年齢に合わせ、早期において創作力や想像力を高める企画内容とし、若年層を対象の中心に、若年層を対障がいの有無や年齢（未就学・高齢者）を問わず参加できる機会にも配慮します。

#### イ とっどりの芸術宅配便（継続事業・一部新規事業）「観る」「触れる」「伝える」「拡げる」

STAGE 1

【予算額 3,492千円】

子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会を提供することで、将来の文化芸術の担い手としての鑑賞者、活動者、支援者の拡大、文化芸術の裾野の拡大を図ります。

[派遣分野] 西洋音楽部門：声楽・オペラ、ピアノ、ゴスペル、管楽器、オーケストラ  
邦楽部門：邦楽（箏、十七弦、三味線、尺八）  
※派遣分野については学校側及び共催団体の要望等により検討・調整する。

### (ア) とっどりの芸術宅配便 <学校編> 年25回程度

多感な時期の子どもたちが心豊かで活力ある生活を送るとともに、その無限の可能性を広げるための一助として、県内のアーティストによる生の文化芸術と出会い、触れ合い、さまざまに感じる機会を県内の小中学校・特別支援学校へ届けます。

### (イ) とっどりの芸術宅配便(新規事業) <まちかど編> 年3回(市町村連携)

県内全域の地域団体と連携し、市町村のまちづくりセンター等の公共スペースを活用したミニコンサート等へアーティストや団体を派遣します。子どもや親子連れや高齢者、普段忙しくてホールに行けない方などに文化芸術を届けます。

## ウ とっどり地域創造(新規事業) 「観る」「育てる」「伝える」「拡げる」「深める」

STAGE 2

【予算額 2,000 千円】

鳥取県の未来を担う若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村等と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者となる文化芸術関心層の拡大を目指します。

### (ア) ⑧ とっどり地域創造ステージ 年2回程度

質の高い舞台芸術を上演し、市町村において潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者となる文化芸術関心層の拡大を目指します。青少年や支援者となる地域住民が良質の舞台芸術に触れやすくするため、無料公演を基本とします。

### (イ) ⑨ アーティスト発信ステージ 年3回程度

県内在住のアーティスト等に活躍の場を提供し、事業を通じてアーティストや活動者の創作に対する意欲を高めることで県内文化芸術の活性化を図ります。親子向けや子どもを対象とする公演は、対象年齢を設定し、文化芸術がより身近に感じられるように小規模公演とします。

併せて、国内外で活躍する若手音楽家(演奏家、声楽家、作曲家等)と協働した事業の発展を目指し、アーティスト・パートナー制度(登録)を設置します。

## エ 若手クラシックアーティスト育成プロジェクト(継続事業) 「触れる」「育てる」

STAGE 2

【予算額 1,799 千円】

これまで実施してきたオーディション事業を見直し、オーディション参加者の発掘と拡大、技術向上を目的に、NHK交響楽団監修のもと、楽器のクリニックを実施します。若年層を対象とし、技術や意欲をさらに育て伸ばす「スキルアップ」を目的に、NHK交響楽団の奏者や、県出身・在住のプロを講師に招き、各楽器のクリニックを実施し、プロの音楽家を目指す若手演奏者の発掘と育成を図るとともに事業を通して、鳥取県の未来を担う若手演奏者及び指導者等とのネットワークづくりを図ります。

また、令和4年度または令和5年度には、「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」の開催を目指します。

### (ア) 弦楽アンサンブルクリニック 年1~2回程度

各地区のジュニアオーケストラ、県内高校の弦楽部等、若手活動者や若年層を対象とし、とっどりチェンバーオーケストラメンバーを講師に迎え、年1~2回程度クリニックを実施します。

### (イ) 個人クリニック 年1~2回程度

若手活動者や若年層を対象に、将来的に開催するオーディションを見据えたジャンル別のクリニックとし、NHK交響楽団の奏者を講師に招き、早期の育成を目指したクリニックを年1~2回程度実施します。



## (2) 伝承・継承事業（県民文化会館指定管理事業）

ア 鳥取県青少年郷土芸能の祭典2021 「観る」「触れる」「伝える」

STAGE 2

【予算額 4,784 千円】

地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流を主軸に置き、青少年による郷土芸能の公演を開催し、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を高め、県外・国外団体及びゲスト演奏者との交流による技術向上と意識啓発に繋がります。

また、「古典芸能体験事業」とし、日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図るため、古典を身近に触れることのできる機会の提供を目指したワークショップを開催します。

鳥取県青少年郷土芸能の祭典2021 ※古典芸能体験事業（調整中）

日時：令和3年10月23日（土）

会場：米子市文化ホール メインホール

## (3) とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第19回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2021）

【予算額 29,798 千円】

鳥取県からの補助金を受け、「とりアート事業」の円滑な運営を行いながら、「県内の文化芸術活動の裾野拡大」「頂点の伸長」「人材育成」の目的達成に向けて、県民の皆様とともに取り組んでいます。

令和3年度以降においても、実行委員会事務局及び東部地区・中部地区・西部地区企画運営委員会事務局運営を行い、財団職員がアートマネージャーや企画運営委員の後見役となり、アートマネジメントの手法を伝播させ、地域の文化芸術の活性化や交流の輪を広げていきます。

## 3 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業（指定管理事業）

【予算額 304,325 千円（収1-1を含む。）】

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立県民文化会館の設置及び管理に関する条例及び鳥取県と締結した協定に基づき、施設の管理運営を行います。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、賑わいの創出に向けた事業、教育機関との連携事業を実施します。

### (1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：60.0%見込み）

#### ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

#### イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

### (2) 地域の賑わい創出事業（予算額 5,299 千円）

まちづくりや、地域活性化を進めていくには、行政、周辺施設、地域の住民等多くの関係者の連携と協力が必要不可欠です。会館は、第3期に構築した多様なネットワークと敷地内施設との協働を通して、文化施設としての特性を活かした事業に取り組みます。また県からの補助事業「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」も今まで以上に参加者、文化活動者が積極的に参加できる環境を整え、各種事業により会館周辺地域がますます活性化されるように事業展開したいと考えています。

#### ア 県民文化会館周辺にぎわい事業 年4回程度：無料

会館周辺の施設等と連携・協働し、人が集うことを目的に実施します。

- ・図書館、公文書館、県民文化会館連携事業(中庭コンサート等)
- ・県民文化会館他事業との連携企画

## イ アートSQUARE夢空間 年3回程度：無料

会館が地域にとって身近で親しみやすい施設となることを目的とし、施設の特徴を活かしながら誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくため、県民文化会館フリースペース等を利用し、気軽に様々なジャンルを鑑賞できる場の提供をするとともに、親子で気軽に鑑賞できる小規模公演等を実施する。

## ウ とりぎん文化会館ホール探検ツアー 年1回：無料

ホールや舞台芸術への関心・意欲の醸成を図ることを目的として、親子や若年層を対象としたホール探検ツアーを実施し、普段は見ることや立ち入ることの出来ない各種の舞台装置や機材の操作体験、会館や舞台芸術を下支えする裏方スタッフの役割などの解説等を行います。

## エ 再掲：みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート 年1回：有料 「触れる」 STAGE 1

舞台芸術への関心や意欲を向上することを目的として、会館が保有している3種のグランドピアノを活用してそれぞれの特色や魅力を感じる参加・体験型の事業を実施し、専門家による説明に加えミニコンサートを行い、生の舞台芸術に触れる機会を設けます。

### (3) 教育機関連携事業（予算額 379 千円）

#### とりぎん文化会館「舞台技術研修会（舞台技術支援）」年4回程度：無料

大学生、高校生、舞台芸術活動者等を対象とした施設・専門設備解説及び舞台の進行管理、照明・音響設備操作等の体験型及び実践実技研修を開催します。

### (4) その他

#### ア（公社）全国公立文化施設協会中四国支部委員館

鳥取県の代表館として、支部委員会（年3回）、研修会（業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会）、調査・研究のための部会（経営環境部会、事業環境部会、特別部会）に関する事など、各支部委員館と連携して適正かつ円滑に運営します。

[参考] 令和1・2年度は、県民文化会館が鳥取県の代表館として支部長に就任。併せて、全国公立文化施設協会の理事に就任、令和2年2月から副会長に就任。

#### イ 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局事務）

総会の開催、研修会（施設管理業務研修会、自主企画事業研修会、舞台技術研修会）の開催など、当協議会に関する事など、各加盟館と連携して適正かつ円滑に運営します。

## 公2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民に広く文化活動や交流の場を提供及び県民の自主的な活動を支援するとともに、人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立倉吉未来中心の設置等に関する条例及び鳥取県と締結する協定等に基づき、施設の管理運営を行う。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業等を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、地域に根差した事業を実施する。

### 1 人と人との交流、地域活性化事業（倉吉未来中心の管理運営事業：指定管理事業）

【予算額 221,532 千円（収1-2を含む。）】

#### (1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：55.0%見込み）

##### ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関する事
- (イ) 利用の許可に関する事
- (ウ) 利用者の応接に関する事
- (エ) 管理状況の報告に関する事

## イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

## (2) 未来つながるプロジェクト (予算額 7,088 千円)

「人と人との交流促進及び地域の活性化」という倉吉未来中心の設置目的を達成するため、会館の自主事業として『未来つながるプロジェクト』に取り組みます。このプロジェクトでは、文化芸術、特に実演芸術の持つ力や管理施設の特徴を活かし、アーティストや活動者、中部地区1市4町、様々な団体や機関とともに心豊かな「ひとづくり」と活力ある「まちづくり」を目指します。

### ア ハッピーマイルコンサート (インリーチ・アウトリーチ) 年6回程度：一部有料

地域の将来を担う子ども達の豊かな感性と創造性を育むことを目的とした、乳幼児から鑑賞可能な子ども向けコンサートを、インリーチ・アウトリーチの両面で実施します。

### イ みらい楽演祭 年10回程度：一部有料

地域の活性化・交流拠点としての施設の賑わいづくりと、施設の特徴を活かしながら気軽に文化芸術に親しむ機会の提供を目的とした鑑賞や体験企画を実施します。

### ウ みらいアートギャラリーの実施 通年：無料

「あいサポート・アートセンター」と連携した障がい者アートの展示や、鳥取短期大学住居デザイン専攻学生の作品展など、地域に根差した街中ギャラリーとして展示企画を行います。

### エ 施設体験ツアー 年3回程度：一部有料

開館から20年を迎えるにあたり、より倉吉未来中心を身近に感じ、愛着を持ってもらえるよう、施設の魅力や特徴、そこで働く職員の仕事に触れてもらうことを目的とした見学・体験企画を実施します。

### オ 舞台技術講座 年1回：無料

高校演劇等の舞台芸術に取り組む学生を対象に、「舞台」「音響」「照明」などの舞台技術に関する基礎知識の習得を目的とする講座と模擬本番を行い、舞台現場を支える人材の育成を目指します。

### カ 舞台技術支援 通年：無料

舞台技術の専門職員として蓄積した知識や経験を広く還元することで、地域の文化振興を担う人材や施設を下支えし、活力ある地域づくりを目指します。

### キ 倉吉未来中心イベント相談窓口の設置 通年：無料

施設利用者や文化活動者に対して、施設利用やアートマネジメント、舞台技術に関する相談窓口を設け、文化施設職員として培ってきた経験や知識を地域に還元することで人材育成と交流促進を図ります。

### ク 館内インスタレーションの実施 通年

季節にちなんだ参加型の館内装飾により施設の賑わいを創出し、地域の交流を促進します。

### ケ 倉吉未来中心サポーターの推進 通年

地域の交流・活性化の拠点として、各人の持てる知識や技能を施設運営に活かすことで、生き甲斐づくりや新たなコミュニティの創出に繋げ、地域と共に歩む施設づくりを目指す。また、プロジェクトの安定的な運営及び発展のため、企業・団体等からの協賛獲得を目指します。

## 収1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業（公益目的事業以外）

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通した人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供する。

- 1 鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：40.0%見込み
- 2 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：45.0%見込み



## 法人の管理運営

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。 【予算額 4,465 千円】

- 1 資産の管理に関すること
- 2 評議員会に関すること
- 3 理事会に関すること
- 4 事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること
- 5 人事管理、給与関係事務に関すること
- 6 会計経理及び契約に関すること
- 7 関係機関との連絡調整に関すること
- 8 人材育成に関すること
- 9 その他、財団の事務処理に関すること

## 大規模改修工事の概要（倉吉未来中心）

倉吉未来中心の建物や各設備は、経年劣化による老朽化がすすんでおり利用者への安全確保と多様なニーズに対応するため、ホール特定天井耐震対策、空調機、舞台設備、アトリウム防水等の改修を実施する。

また、エレベータ改修は、部品供給の完了及び建築基準法の改正（平成26年4月）に伴い、各エレベータを順次実施したものである。なお、各工事は鳥取県の予算により執行される。

工 事 種 別		工 期	
特定天井耐震対策	大ホール	令和3年 1月	～ 8月まで
	小ホール	令和3年 1月	～ 4月まで
特定天井照明改修工事（LED化）		令和3年 1月	～ 8月まで
アトリウム屋根防水工事		令和3年 8月	～ 11月まで
舞台機構設備改修工事		令和3年 1月	～ 11月まで
舞台照明設備改修工事		令和3年 1月	～ 11月まで
反射板改修工事		令和3年 1月	～ 6月まで
監視カメラ更新工事		令和3年 1月	～ 11月まで
空調設備改修工事		令和3年 1月	～ 6月まで
アトリウムエレベータ改修工事		令和3年10月	～令和4年2月まで
自動火災報知設備改修工事		令和3年 9月	～ 12月まで
アトリウムフローリング床改修工事		令和3年10月	～ 12月まで